

具体的には、

◎安全でわかりやすい集合場所を決めておく

◎公衆電話や伝言ダイヤル（171）を利用する

◎決めたところに張り紙をする

など、家族で話し合って決めておきましょう。

## 家の中の災害対策

☆家具の固定

☆ガラス等の飛散対策、寝室に靴を置いておくと災害時足を守ることができ

ます。

☆懐中電灯を分かりやすく取りやすい所に置き、家族に周知させておく。

## 非常用持ち出し袋

### の用意

載せてあります『災害時持出し用品リスト』は、一例になりますので参考にして

いただき、自分なりのリストを作成するとよいでしょう。

## 災害時の感染対策

災害時には、危険な場所にいる人は、避難することが原則ですが、現在流行している新型コロナウイルス感染症、また季節性インフルエンザやノロウイルスによる感染性胃腸炎などの感染症対策も踏まえて避難しなければなりません。避難先を検討することも念頭において対策をたてておきましょう。



☆ハザードマップを確認し、浸水、土砂などの危険がなければ、自宅での避難を検討する

☆自宅が危険な場合は、避難所だけでなく、親戚や

知人宅、ホテル等への避難も検討する

☆市町村で、避難所が変更・増設されている場合もあり

ますのであらかじめ確認しておく

☆車での避難は危険ですので、十分に注意する

☆避難所に入る前に、受付での検温、体調チェック、手指消毒を行う

☆食事前、トイレ使用



後、ごみ処理後等、頻繁に石鹸と水で手を洗う、またはアルコール消毒薬での消毒を行う。

☆常時マスクを装着する。もししくは、同居家族と過ごす空間を離れる場合（食事の受け取り、トイレ、ゴミ出しなど）はマスクを装

着する。

☆ユニバーサルマスクを実践する

※ユニバーサルマスクとは、無症状の人も含めてマスクを装着するという新たな概念です

☆避難者同士（同居家族以外）は2m程度の距離を保つ

☆食事時間をずらす、食事場所を変える、距離を取って食事を取る、など密集・密接を避ける

☆毎日体温を測り、自身の健康状態を確認する

☆体調不良の場合は我慢せず、すぐに避難所のスタッフに相談する

適切な感染対策で、自身や家族の身を守りましょう！

